

story 2

ドラマのような素敵なお話

事前にご予約をいただき男性一人でご来店。
30歳前後ぐらいでしょうか・・

付き合ってる彼女への婚約指輪を考えている
ときに、ちょうどお母さまが自身の持っている
ジュエリーを2点差し出して、

「これ良かったら使っていいよ。リ
フォームって知ってる?
デザインを作り変えてくれるお店があると思
うから」

そんなアドバイスと共に後押しをしてくれた
そうです。

宝石のリフォームの存在を知らなかつたお客
さま（男性の方は知らない方が圧倒的に多い
と思います）

お住まいが豊能ということで、インターネット
で調べて比較的近い当店のことを知って頂
きご来店をいただきました。

譲り受けたダイヤモンドが2つ。婚約指輪に
するにはどちらがふさわしいかなどをアドバ
イスさせていただきました。

実は、このリフォームの話を事前に彼女に相
談されたそうです。もしかしたら新しいもの
の方がいいのではないかと・・。

彼女からの答えは・・「お母さんからダイヤを
譲ってもらえるって、自分を認めてくれたよ
うでうれしい！！！」と手放して喜んでくれた
そうです。

そのような背景がある中での彼氏のこだわり
は、「デザインは自分で決めたい！！」

そのような意思のもと、店頭のサンプルを色々
とご覧いただく中で、ご本人曰く「ビビっと
きたデザイン」に決めていただきました。

デザインも素敵ですが、この婚約指輪が出来
上がるまでの、お母さんの想い、そして彼女
さんの想い、そしてご本人の想い。

全て繋がっているストーリーがドラマのよう
で素敵ですよね。

もう一つ余ってるダイヤ。

いつかお母さんに感謝の気持ちを込めてリ
フォームしてプレゼントしようかな・・それ
とも彼女の誕生日のプレゼントにしようか
な・・とご本人は嬉しそうに語ってくれました。

これから楽しみが尽きないですね。



こちらが譲り受けたお母さまのダイヤのペンダント



ビビっときたお気に入りのデザインです

